

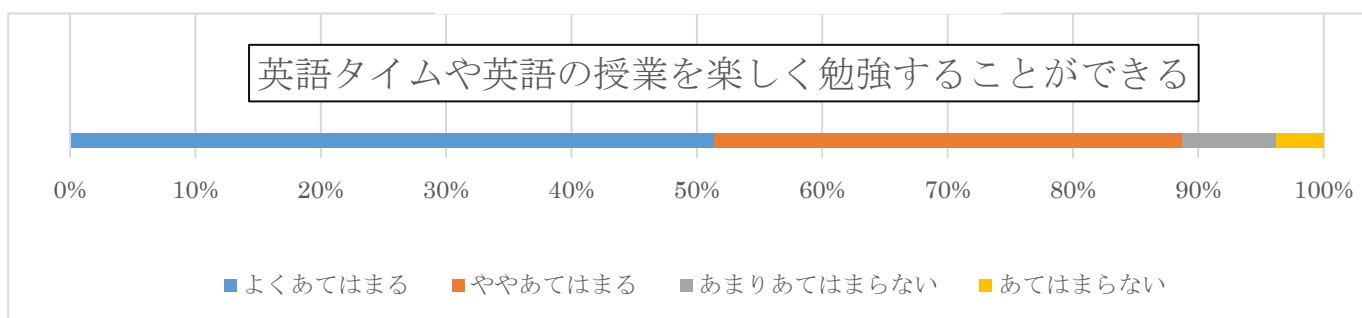
令和5年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和5年度末、本校児童にアンケートを行ったところ、「英語タイムや英語の授業を楽しく勉強することができる」という質問に対し、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と回答した子供は、全体の88.7%でした。一昨年度より1.6%増加した結果となりました。

このことから、全校で取り組む英語タイムや3・4年生の外国語活動への取組が、子供にとってよい学びにつながっていることを示していることが分かりました。今後、さらに英語に対する興味を高め、英語タイムや外国語活動の授業を充実できるように、積極的に英語を活用する場を増やすなど、改善を図りたいと考えています。

【資料1】児童のアンケート結果

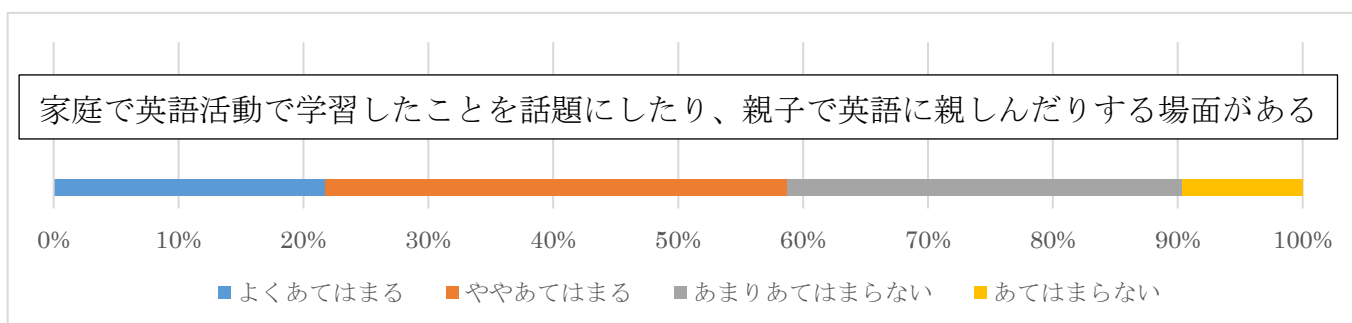


2 学校関係者評価結果

令和5年度に行った保護者向けのアンケートを行ったところ、「家庭で英語活動で学習したことを話題にしたり、親子で英語に親しんだりする場面があった」という質問に対し、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と回答した保護者は、全体の58.8%でした。一昨年度と比較して、21.8%という大幅な減少となりました。子供は楽しく活動ができていることを踏まえると、英語の学びの様子を家庭に伝えたり、子供から英語の学びのよさを発信したりする機会が少なかったことが挙げられます。

このことから、英語タイムや外国語活動の授業の充実はもちろんのこと、そこから発展し、英語を学ぶことのよさを伝える機会を少しでも増やすとともに、英語に慣れ親しみ、英語での会話をコミュニケーションツールの一つとできるような子供たちを育てていくことが大切であると考えています。

【資料2】保護者のアンケート結果



3 まとめ

今後の課題として、子供の英語に対する興味関心の高まりを、学校での英語活動や外国語の授業での学びとリンクし、日常生活の中で英語を使う場面を少しでも増やすことが挙げられます。

英語活動や外国語の授業内容の一層の充実を図るとともに、短時間でも繰り返し英語にふれることができるような場面を設定していきたいと思います。さらに、子供から英語を使ったり、話題に出したりできるよう、英語に対する関心をさらに高めていきたいと考えています。